

高知くらしの護身術

164

ネットオークション

取引には自己責任伴う

(2010年3月23日掲載原稿)

インターネットオークションは大変便利な仕組みで年々、利用が拡大しています。しかし、トラブルも多く報告されています。

「落札した部品が既に持っている機械に合わなかったので返品したいと申し出ましたが、出品者に断られた。」という相談が寄せられたことがあります。相談者は入札前に出品者の画像と簡単な説明文を見て判断し、事前に出品物のメーカー・品番・サイズなどの問い合わせは一切行っていませんでした。

出品者の大半は業者ではなく個人のため、説明文もさまざま。不十分なものの中にはあるようです。しかし、基本的には落札すると記載の条件で購入契約を結んだこととなります。実際に品物を確認することはできませんので、疑問点がある場合は必ず、入札前に確認することが重要です。今回のようなケースでは、送られてきたものが明らかに出品内容と異なる場合を除き、返品は難しいと思われます。

また、中古品と記載されている場合、中古品であれば常識的に予想されるような傷や汚れについては文句は言えないでしょう。しかしながら、商品の価値が大きく損なわれるような故障や傷で、出品時に記載がなく、知らないまま落札してしまった場合、原則的に出品者に対して代金の返還や商品の交換を求めることができます。

ネットオークションは便利なシステムですが、取引するためのルールが細かく決められています。そのルールをすべて守って参加し、取引には自己責任が伴うことを認識することが必要です。